

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	32	学 校 名	静岡県立清水西高等学校	記 載 者	堀之内 育子
------	----	-------	-------------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	知力の向上	・学習時間調査、課題未提出者指導により学習習慣の確立を図る。 ・1 週間の学習時間平均 1 年 7 時間 2 年 10 時間 ・テスト前学習実施	B	B	評価軸の再検討が必要。 現代の高校生としては、標準的な学習時間である。 1 年から 2 年になるにつれ、進学等も近づくのに、勉強時間が変わらないのは問題である。 学習時間調査は、何回実施し、時間の変化はどうか。 課題未提出者指導等の実施、その内容はどのようなものか。 2 年生は 1 年次との比較がどうだったのか。
		・各科目の 11 月模試の SS は、特進クラス（コース）上位 50% の平均 50 以上、看護医療及び一般の平均 40 以上 ・ICT を活用した AL 型授業の公開を 1 人年 2 回以上実施 ・ICT 教育に関する積極的な情報提供と研修を実施する。 ・授業改善月間に、各教科代表者の公開授業及び授業検討会に取り組む。（年間 2 回） ・測定ツールの結果を検証し、指導改善に取り組んだ教員 80% 以上	B	B	学校の自己評価で、3 年生の進路によっては 2 学期以降モチベーションが下がるという言葉が気になる。 I C T は時代の要請、社会人になって役立つという根本的な理解をする授業を望む。 3 年間を見通して、「最善の進路選択できている」とあるが、どのデータから言えるのか。 教員の教授力 up 対策をしているが、生徒はどのように評価しているのか。
		・英検受験 60 人、料理検定等受験 20 人、漢字検定受験 30 人、情報処理検定受験 10 人	B	A	英検を除き、目標以上である。ただし、合格率も必要ではないか。 保母、目標以上の人数を達成してる。
	体力の向上	・1、2 年生新体力テストの記録は、春から秋の伸び率 50% 以上 ・新体力テスト記録会総合評価平均点 (R5 男子 4.077 女子 3.755) を向上させる。 ・体育やスポーツ及び心身の健康に関する意識の向上を実感する割合	A	A	先生方の努力に敬意を表します。 現役の西高生を見ていると、4 月からだいぶ体力がついてきていると感じる。 体育やスポーツの向上の達

様式第 5 号

		80%以上			成割合はどのくらいか。
	心力の向上	・生徒アンケート「芸術鑑賞の満足度」85%以上	A	A	「大変良かった」という反応は先生方のご苦労が報われました。
		・2か月に1冊以上の本やデジタル本等の読書記録をする。 ・委員会活動として、読書推進行事の運営や生徒の推薦本紹介等を行う。	B	B	前年に話題となった「デジタル化」が加筆されて良かった。 朝読書をすることで、生徒の心力がどう向上したか把握できるとよい。
		・生徒全員清掃活動の実施 ・大掃除、ワックスがけを体操着に着替えて実施する。 ・基本的生活習慣の確立のための指導を実施した職員 100% ・月1回の「カジュアルデー」(私服登校)を通して自主性を育み、TP0をわきまえた服装や制服の意義を考える。 ・遅刻1日学年平均3人以下 ・交通安全教室・防災訓練・薬学講座等の振り返りシートを個人端末に保存 ・「保健だより」隔月発行、朝食摂取率 97%以上、治療率 80%以上	B	B	学校の清掃は日本独自だと報道されたが、世界に誇れる日本の文化です。ぜひ継続していただきたい。 薬学・防災等の情報共有で個人端末を利用することは大変良い試みである。
イ	グローバルリーダーの育成	・各学年、地域連携企画または進路ガイダンス等外部の話を聞く会の開催年2回以上 ・年1回のグローバル講演会の実施 ・「ともえ探偵団」成果発表を実施し、校外の発表会に参加する。	A	A	生徒の反響もよいので、ぜひ継続していただきたい。 ともえタイムの目標である「探究力、自己有用感、思いやり、社会性ある人間を育てる」を評価に用いるのはどうか。
		・一部活動一地域貢献の実施 ・全校生徒が年間1回以上ボランティア活動実施。 ・はな金ボランティアを計画的に実施する。	B	B	参加者が多く、数値的には自己評価Aで酔うのではないかな。
		・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」85%以上 ・生徒意見に対する検討率 100%	A	A	文化祭を見学したが、素晴らしい校風を実感した。
ウ	教職員相互及び地域との連携の強化	・人権感覚チェックシートを2回実施 ・不祥事根絶及び体罰 0	A	A	体罰根絶への取組、よろしくお願いします。

様式第 5 号

		・学校生活サポートシートを活用し、入学前に生徒支援の情報を共有する。 ・「心理検査」を有効に活用し担任面談を実施する。 ・「教育相談だより」の定期的発行 ・「自己診断シート」を年 2 回実施	A	A	ツールを活用していることは大いに評価する。 「教師と生徒」の関係は「人と人」であることを意識していて心強い。
		・中学生一日体験入学参加者数 700 名以上 ・週 3 回以上の X(Twitter)の更新 ・学校広報紙の企画・制作 ・運営委員等の中学校訪問年 4 回以上 ・PTA 会員に X(Twitter)・インスタの登録をよびかける。 ・絆メール等を活用し、役員間の連絡を円滑にする。 ・PTA 総会後の懇談会を実施し、保護者と職員の情報交換の機会とする。 ・持続可能な PTA 事業に合わせた規約の改正をする。 ・文化祭、探究活動、探究発表会、グローバルワークショップ等の出席を依頼する。	B	B	目標対比では、Bだが、学校側の成果と課題のコメントが気になる。 P T A等に時間労力が割かれて、先生の自己犠牲はあってはならない時代です。広大連携について評価に加えたかどうか。 P T A以外の組織・機関との連携はどうだったのか、目標に入れるとよい。
エ	教育環境整備の推進	・職員安全衛生委員会の定期的開催	A	A	先生の心身の健康が保たれることを希望する。
		・予算執行状況を毎月確認し、定期的に予算編成の見直しを行う。 ・安全安心な施設の整備のために、法定点検での不備指摘前年比 10%減 ・検査における文書指示事項なし	B	B	予算も潤沢ではないでしょうから、先生たちのご苦勞が忍ばれます。
オ	ワークライフバランスの推進	・分掌別フォルダを活用した、文書受付のペーパーレス化を実施する。 ・個人設定日が見える化し、月 2 回以上の定時退勤を実施する。 ・休暇取得促進日に取得できる職員 90% ・各学期面談実施率 100% ・各分掌による業務改善の推進、1 分掌 1 業務改善	B	B	デジタル化、働き方改革が進んだ点は素晴らしいです。より推進して、先生たちが働きやすい環境を作ってほしい。 西高だけの問題ではないが、月 2 回の定時退勤が目標というのはいかがでしょう。業務過多は、個々の創意工夫では解決できない。 各分掌による業務改善は、各人の改善がなかったのか。